

スポーツ拠点の完成を祝う

熊本甲佐総合運動公園完成式典が開催



■熊本甲佐総合運動公園の完成を祝う

3月12日(日)熊本甲佐総合運動公園「緑川リバーサイドパーク」(愛称・Kパークこうさ)の完成式典が開かれました。

式典は同運動公園内の第一駐車場で行われ、田嶋徹熊本県副知事や赤松忠幸国土交通省九州地方整備局副局長・地域住民など関係者65人が出席。奥名克美町長は「熊本地震・豪雨災害からの復興のシンボルとして完成した熊本甲佐総合運動公園が、本町のまちづくりをより魅力あるものにし、地域住民をはじめとする多くの皆さんの河川利用や交流の場となり、緑川流域全体の発展につながるものと大いに期待するところです」とあいさつしました。

式典の最後に同運動公園の完成を祝して「緑川の歌」川辺の四季」をシンガーソングライターのMICAさんが披露しました。

■甲佐地区かわまちづくり事業の一環として整備

同運動公園は、町が国土交通省と連携して、水辺空間を活用したまちづくりを進める「甲佐地区かわまちづくり事業」の一環として、平成26年度から計画。安津橋一帯の緑川河川敷に平成29年度から整備を進め、サッカー場2面(天然芝・人工芝)、テニスコート(8面)、野球場、ソフトボール場、遊歩道、管理棟などの施設を備え、令和元年10月のサッカーエリア供用開始。令和4年6月から同運動公園の全面供用が開始されました。



▲「緑川の歌」を披露するMICAさん

スポーツと自然を楽しむ春の祭典

スポーツを楽しむ春の祭典が4年ぶりに開催

3月12日(日) 熊本甲佐総合運動公園を主会場として、「緑川スポーツフェスタinこうさ2023」が開催されました。

同イベントは、スポーツを通して本町の交流人口の増加、町全体の活性化を目的に甲佐町観光協会(奥名克美会長)が主催。町内外から約3000人が参加し、スポーツを楽しみました。

本町の魅力を楽しむクイズウォーク

同会場を発着点として、チェックポイントを巡りクイズに答える「こうさんもんクイズウォーク」では、ショートコース(約5キロ)とロングコース(約10キロ)に191人が参加。陣ノ内城跡などの名所を歩き、各

チェックポイントでクイズを楽しみました。

ステージやスポーツ体験コーナーも大にぎわい

メインステージは、甲佐中学校吹奏楽部の演奏で開幕しました。続いてシン

ガソングライターMIC Aさんが「緑川の歌〜川辺の四季〜」を披露。同曲は、甲佐出身の児童文学作家・丘修三さんが平成8年に作詞した「緑川の歌」をMIC Aさんが甲佐町をイメージして編曲しました。また、仮面ライダーショーや甲佐

高校生によるステージショー、大抽選会なども行われました。

スポーツ体験コーナーでは、「エアボール」や「セグウェイ」などを実施。また、熊本ルネサンスの女子サッカー選手によるサッカー教室や大福ロジスティ

クスによる野球教室、甲佐町ソフトテニス協会と甲佐高校テニス部によるテニス教室、グラウンド・ゴルフ大会が行われ、子どもから大人まで春の甲佐とスポーツを満喫しました。

「グルメゾーン」には、甲佐町の特産品ブランド「こうさんもん」や町内の飲食店など21店舗が並び多くの来場者でにぎわいを見せました。

1_ こうさんもんクイズウォークで町内の名所を巡る参加者たち 2_ 甲佐中吹奏楽部の演奏 3_ 甲佐高の生徒が歌と楽器の演奏を披露 4_ 熊本ルネサンスのサッカー教室 5_ グラウンドゴルフを楽しむ皆さん 6_ 甲佐高校テニス部によるテニス教室 7_ 多くの人でにぎわいを見せるステージ 8_ エアボールに入った子どもを楽しませる甲佐高校生 9_ セグウェイを楽しむ子どもたちと見守る保護者 10_ 大福ロジスティクスによる野球教室



